



東北ボーリング株式会社  
Earth & Water

### CLT材を活用した木造「ZEB」新社屋完成 (2023年2月28日)

応用地質グループの東北ボーリング(仙台市若林区)は宮城県初となる木造ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)認証を受けた新社屋を建設した。新社屋は一般的な「クロスドールプ」方式に加え、地下水をそのまま利用する「オープンループ」方式を採用。また地中熱による「省エネ」以外にも、太陽光発電や蓄電システムなどの「創エネ」「蓄エネ」技術を取り入れることで、年間の1次エネルギー使用量が0%以下を達成した。

宮城県の林業が他地域より衰退している事態を鑑み、建物には県産の地場木材やCLT(直交集成板)を活用し、エネルギーだけでなく建材での地産地消も実践している。

## 応用地質株式会社 (OYO Corporation)

〒101-8486 東京都千代田区神田美土代町7番地 ☎03-5577-4501(代表) <https://www.oyo.co.jp/>

PR

# 人と地球の未来に ベストアンサーを。

OYO  
応用地質

## 持続可能な社会を実現するために。

社会課題・環境課題を解決  
サステナビリティに直結する  
応用地質グループの事業

東証プライム市場上場の応用地質は1957年の創立以来、祖業である地質調査業を起点に、社会・環境課題を解決するユニークな事業を発展させてきた。現在、グループの展開する四つの事業(インフラ・メンテナンス事業、防災・

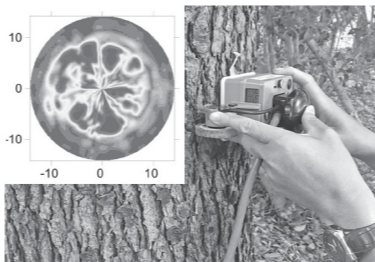
減災事業、環境事業、資源・エネルギー事業)は、すべて社会のサステナビリティ(持続可能性)に深く関わるものであり、事業活動を通じてお客さまにソリューションを提供することが、持続可能な社会の形成に貢献し、企業価値を高めることにも寄与している。



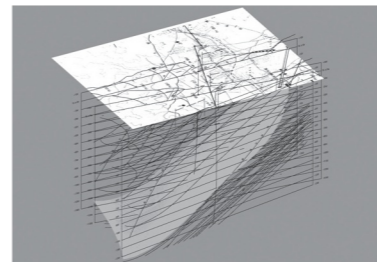
洋上風力発電支援サービス(海底地盤調査)は市場で最大のシェアを誇る



道路冠水を検知するとアラートを発信する最新の防災IoTシステム「冠水センサボード」



樹木診断専用の小型レーザーにより樹木の健全度を調査し、街路樹の倒木被害を抑制する



北海道三笠市では、得意とする地盤3次元化技術を用いてCO2の地中貯留に貢献

日刊工業新聞 2023年6月23日(金)掲載。 許可を受けて転載しています

東北ボーリング株式会社は、応用地質グループの一員として、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。



東北ボーリング株式会社